

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	17120	電話	042 - 769 - 8226
担当部課名	市民部	市民生活	課	
事務事業名	ふれあい広場維持管理費・維持補修費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第7章	個性豊かなコミュニティまちづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	市民全体のまちづくり	63以前年度
施策名	第2施策	コミュニティ活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市立ふれあい広場設置基準・相模原市立ふれあい広場管理要綱・相模原市立ふれあい広場の維持管理委託に関する要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
地域住民の軽スポーツ、レクリエーション、文化活動等のコミュニティ活動を促進する多目的広場として設置した「ふれあい広場」の適切な利用を図るための管理運営を円滑に進めるため地域で組織する「広場管理運営委員会」に維持管理を委託し、また広場の機能を維持するための補修を行う。	ふれあい広場 対象数 30箇所
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1. 広場維持管理費(ふれあい広場の維持管理に伴う事務費)計 6,010,464円 施設賠償責任保険 47,280円 広場維持管理委託 3,934,000円 広場植栽手入れ委託(14箇所) 1,623,884円 麻溝ふれあい広場立ち入り防止柵設置委託 258,300円 麻溝ふれあい広場除草委託 147,000円 2. 広場維持補修費(既設ふれあい広場に対する維持補修費)計 1,441,700円 施設修繕(4箇所) 899,900円 (旧)磯野台ふれあい広場遊具撤去委託 541,800円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	利用者増減率(%) (対前年度比)	本年度利用者数÷前年度利用者数*100 4,976人 5,233人 5,273人 5,040(見込) 5,070(見込) 5,170(見込)	利用増減率から利用者のニーズをみる。	105	101	96	101	102

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
人員・時間数	2人・10日	2人・10日	2人・10日	2人・10日	2人・10日	2人・10日
人件費	645	645	645	645	645	645
その他経費						
合計	7,578	14,654	8,098	7,376	9,245	
特定財源						
対象数	26	27	30	30	30	
対象の単位あたり経費	291.5	542.7	269.9	245.9	308.2	

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	地元の管理運営委員会の管理のもと、十分な活用がなされている。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
		説明	地域コミュニティを推進するための多目的な広場として、地域住民が安全に、快適に利用するためには、維持管理・補修が必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	適切な維持管理・補修を行うことにより、地域住民が安心してコミュニティづくりができる場として活用されている。
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	行政による必要最小限の補修整備と地域住民による除草や低木の剪定など効率的に維持管理が行われている。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	広場全施設を巡視し、補修、修繕の必要性を確認したうえで公平に行っている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 地域の広場は地域が守という意識付けを行い、地域の管理運営委員会が自主的に維持管理、補修に努める。	手段	地元主体で早期発見・早期修繕に対応できる体制づくりを行うことで、維持補修費の削減ができる。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 維持補修については、基本的には継続すべき事業である。ただし、広場の維持管理については、地域で組織する「広場管理運営委員会」に委託しているが、今後は市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりが推進される中で、地域住民が自主的に行うアダプト制度の導入を検討する。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

アダプト制の導入を検討すること
